

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 3 月 29 日作成)

小委員会名	JASS12 屋根工事改定小委員会	主 査 名：栗田 紀之 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (内外装工事運営委員会)	委員長名：早川 光敬 主 査 名：輿石 直幸
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・「建築工事標準仕様書・同解説 JASS12 屋根工事」を改定し、刊行する。前回改定(2004 年 2 月)以降の新しい技術(特に長期優良住宅等に対応した屋根の長寿命化に関する技術)を反映した改定を行う。</p> <p>初年度：屋根構法の実態調査、問題点の抽出、改定方針の策定 2 年度：標準仕様を採用する構法の選定 3 年度：本文及び解説の執筆 4 年度：本委員会査読、原稿の見直し、仕様書の発刊、講習会の実施</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栗田 紀之 (建築環境ワークス協同組合)</li> <li>・名取 発 (東洋大学)</li> <li>・石川 廣三 (東海大学名誉教授)</li> <li>・大矢 重文 (公共建築協会)</li> <li>・宮村 雅史 (国土交通省国土技術政策総合研究所)</li> <li>・岩城 邦祐 (一般社団法人住宅生産団体連合会)</li> <li>・松本 知大 (一般財団法人建材試験センター中央研究所)</li> </ul>	
設置 WG (WG 名：目的)	JASS12 執筆 WG (「建築工事標準仕様書・同解説 JASS12 屋根工事」の改定を行うため、屋根工事の種類別、各屋根構法(各節)ごとに仕様書及び解説の執筆を行う。)	
2017 年度予算	30,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/a-000/a600-12/a660-15.html">http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/a-000/a600-12/a660-15.html</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	12 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 小委員会を 12 回、執筆 WG を 6 回 (小委員会と合同で) 開催し、さらに屋根工法ごとに、小グループで、内容を検証しながら執筆を進めてきた。2018 年度冒頭には、第一次原稿が取り纏められる予定である。</p> <p>2. 全体の改定方針に係る内容のうち、目標性能の記述(特に耐久性能について)について、活発な議論がなされ、仕様書第 2 節の原稿執筆を進めた。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 各屋根構法を担当する業界団体によって、検討の粗密があり、原稿の完成度のばらつきがある。</p> <p>2. 目標性能の記述に関する一部原稿が完了していない。</p>